

## 論文審査の要旨

報告番号	甲 第 2558 号	氏 名	俵積田 ゆかり
論文審査担当者	主査	泉崎 雅彦 教授	
	副査	小口 勝司 教授	
	副査	小林 真一 教授	
(論文審査の要旨)			
<p>ローズマリン酸 rosmarinic acid (RA) は植物由来の天然ポリフェノールの一種で、紫蘇やローズマリー、レモンバームなどに含まれ、抗酸化作用、抗アレルギー作用などを有することが報告されているが、ラット孤立ストレスに対する作用については明らかにされていない。</p> <p>俵積田らは Wistar 系雄性を 1 週間 1 ケージに 1 匹で飼育する孤立ストレス群と 1 ケージ 3 匹で飼育する対照群に対し、体重変化、攻撃性評価、血漿コルチコステロン濃度、脾臓 NK 細胞活性の変化を指標として RA 投与の効果と比較した。この結果、孤立ストレス群では体重増加率、攻撃性、血漿コルチコステロン濃度が有意に増加し、脾臓 NK 細胞活性が有意に低下するのに対し、孤立ストレス+RA 投与群ではいずれも有意な変化を認めなかった。</p> <p>以上の結果から RA にはラット孤立ストレスによる行動や生体変化を抑制することが示唆された。</p> <p>本論文は RA の作用に関して新知見を有し、一同、学位論文に値すると判定した。</p>			
論文題名： 社会的孤立ストレスラットにおける Rosmarinic acid の抗ストレス作用			
掲載雑誌名：薬理と治療 (JPT) 41 巻・1 号・2013 年			